



いっぺいといっぷく

市長のまちづくりにかける想いを市長の語り口でお伝えします。
市HP「によぜがもん」もぜひご覧ください。

Vol.65 うちの夫、何とかしてくださいよ

行事に参加した際などに、「市長さん、うちの夫、何とかしてくださいよ。朝ご飯を食べたと思ったら『おい、昼は何を食べる?』と言う。ずっと家に居られたら、こっちの調子が悪くなっちゃう」と言われることが度々あります。

今、マスコミでも盛んに「夫源病」や「亭主在宅症候群」と報じられています。退職前は、家庭のことは妻に任せ、言ってみれば職場に引きこもっていた夫が、今度は家に引きこもって、職場の価値観で上から指示してくることに女性のみなさんは耐えられないとおっしゃいます。もし夫が、病気になって在宅での療養や介護が必要になっても、相変わらず、上から指示をされたら、介護をする自信がないと話される方や、「いっそ離婚して、もう知らない!とりたい」とまでおっしゃる方もいらっしゃいます。

男性陣とこういう話をしても、「自分の家は大丈夫」と思っている人が多いようです。40代、50代と話す、「うちの両親も、心配です」とは言うけれど、自分自身がそうなる可能性があるとは、まったく想像もしていません。このままでは、男性は家から出ずに不健康になり、女性は亭主在宅症候群で調子が悪くなる一方です。

70代半ばを迎える頃には、男女ともに自立度が落ちていくと言われていています。年間270万人生まれた団塊の世代が、75歳になる2025年問題は、もう目の前です。もし、介護が必要な状態になった人が、家族から「もう知らない」と見放された場合、どうなるのでしょうか? 「そのために介護保険制度がある」と思われるかもしれませんが、国では2025年には、全国で約38万人の介護人材が足りなくなると予測しています。制度を使ってプロに任せたくても、そのプロが足りません。

これまで日本の成長を支えてこられた世代のみなさんが、いくつになっても、「必要とされている」と感じ、地域でやりがい、生きがいを持つことができる「役割と居場所があるまち」にしていくことが必要です。とにかく家に閉じこもらず、外に出かけ、人とつながり、元気でいていただきたいのです。毎月の広報ながくてを開いていただくと、さまざまな講座の募集案内が載っています。趣味でも、仕事でも、何でもいいと思います。自分のやれることから始めませんか。そして、既に、活動いただいている方には、お客様にならず、主体的に事務局等を担っていただく仕組みが必要だと思っています。そうした仕組みの知恵もお貸しいただきませんか。



ふれあい つながり みんなが楽しむまちづくり こんにちは! 西小学校区まちづくり協議会 検索 です。

◆ホームページで西小校区共生ステーションでの会議やイベント、プログラムの予定を載せています。ぜひご覧ください。

◆西小学校区を走る青色パトロールカーの防犯を呼びかけるアナウンスを、長久手高校の生徒が吹き込んでくれました。高校生の声をぜひ聴いてください。

◆総会の日程変更しました。
4月21日(日)→5月19日(日)
※詳しくは4月下旬に配布する「みんなの西まち」でお伝えします。



☎ 0561-64-5331 西小校区共生ステーション
✉ nishi.no.machikyo@gmail.com

市が洞 小学校区まちづくり協議会

2月24日(日)に第1回運営会議を開催し全32名でこれからのまち協についての様々な想いを意見交換しました!これから環境、子育て、福祉、ステーションの4部会も活動を本格的に進めます。ぜひご参加ください!



市が洞小学校イメージキャラクター

平成31年度総会
5月12日(日)
市が洞小学校体育館
詳細は全戸配布にて

インスタグラム
みてね!



http://ichigahora.sakura.ne.jp/(協議会HP)

長久手市地域見守り安心ほっとライン

0561-63-5556

24時間
365日受付

ご近所で「いつもと違う」と気づいたときはお電話ください

